

社会福祉法人 どんぐりの家
令和 4 年度 事業報告

(1) 通所介護事業所

年間延べ利用者数、10,236 名。

予算 86,000,000 円 決算 86,280,285 円（達成率 100.3%）

「住み慣れた場所で生活したい」という思いに寄り添うため、ご利用者の事をよく観察して、相手の気持ちが分かるようにミーティングや現場で職員の育成に努めました。また、ご利用者との会話や日々の気づきを考える事で、在宅生活が安心して楽しく過ごせるように支援しました。

新型コロナウイルスの影響を受ける中、全員が一堂に集まる行事はできなかったものの、新館と旧館に分かれる等の感染症対策を徹底して、運動会や秋祭りを実施する事ができました。さらに「ペン習字」や「癒しの時間」といった新しいレクリエーションにも挑戦し、一定の成果を上げる事ができました。

(2) 認知症対応型通所介護事業所 どんぐりの家 絆

年間延べ利用者数、3,046 名。

予算 38,570,000 円 決算 38,424,560 円（達成率 99.6%）

新型コロナウイルス感染症対策を徹底していましたが、ご利用者とスタッフが同時期に複数名罹患し、拡大防止のため 5 月と 3 月に計 9 日間事業所を閉鎖しました。

ご利用者に対して画一的なサービスにならないように、一人ひとりに応じた対応に気を付け実践しました。

また、心地よさが残る「接遇」を実施できるよう継続してミーティング等を行い、ご利用者の尊厳を大切にするスタッフの育成に努めました。

ご利用が難しかった方に対して、ご本人、ご家族、ケアマネジャー等と話し合い、定期的なご利用に繋げる事ができました。

(3) 居宅介護支援事業所

年間延べ給付管理件数、1,064 件

予算 14,663,900 円 決算 14,678,120 円（達成率 100.1%）

令和 4 年度においても、新型コロナウイルスの影響を受けたご利用者がおられましたが、サービス調整等緊急対応をすることで、健康維持や安全確保に

結びました。

職員の研修については、法人内のスタッフ研修をはじめ、法人外では綾部市生活サポート会議や地域包括支援センター主催の事例検討会議に計画通り出席できました。その他にも認知症サポーター研修や、高齢者を対象としたセミナーへ講師として出席しました。また、外部研修で得た情報や気付き等は事業所内で共有し、日常業務の質向上に努めることができました。

(4) おこしやす

年間延べ利用者数、3,722 名。

予算 13,700,000 円 決算 13,917,606 円（達成率 101.6%）

今年度も月曜日から金曜日まで、沢山のご利用者に「綾部市すこやかシニア教室」に参加していただくことができました。

現在の生活を長く続けていただけるように、「筋力の維持・向上」を目的とした体操。「口腔内の清潔保持・嚥下機能向上」を目的とした口腔ケア。「栄養のある食事を摂る」ための栄養改善を主なテーマに活動し、ご利用者の健康維持に努めました。

また、月曜日から金曜日の開所日を月曜日から水曜日への変更に伴い、新規ご利用者の受け入れを一旦中断したり、現在ご利用いただいている方から数名通常デイへ移行しましたが、スムーズに取り組むことができました。

ご利用者一人ひとりが、利用時のみならずご自宅での感染症対策にも気を付けられ、「新しい生活様式」が定着したと感じた一年でした。

(5) 配食サービス事業所

昼食・・・6,261 食、夕食・・・7,938 食、計 14,199 食。

予算 8,246,900 円 決算 8,259,250 円（達成率 100.1%）

ご利用者から「美味しかった。」という声をたくさん頂き、調理スタッフは感謝と共に衛生管理の徹底を図り、年度を通じて食中毒、異物の混入等無く配達できました。

献立について、栄養バランスへの配慮だけでなく、特に夕食は毎月新メニューを立案し提供することができました。旬の食材利用にも力を入れ、昔ながらの季節行事を意識した「イベント献立」を定期的に実施しました。

配達時の安否確認において、倒れておられるご利用者を発見し介抱したり、明らかに普段と顔色が違うご利用者に病院受診を促したり等、早期に適切な対応を行うことができました。